

宮城県石巻高等学校におけるオンラインによる国際交流の事例

学校独自の取組み

本校生徒がゲスト（石巻在住外国人）に対して、対談形式で英語でのインタビューを行う企画『アナタと私といしのまき』。石巻かほくのシリーズとなっていた『石巻かほく メディア猫の目 You! なぜ石巻へ ～在住外国人は今～』の記事より着想を得て、本校英語科が企画・実施している。

【プログラムの内容】



ゲスト紹介のポスターで呼びかけ



『英語が通じた！英語で理解できた！』と、英語コミュニケーションによる感動を体験。

ネイティブとの対話は緊張したが、とても刺激的で、自分の英語がしっかり相手に伝わっていることに自分の成長とコミュニケーションの楽しさを覚えた。『英語を使う機会』を与えてもらった。『楽しみと目的』を再確認できた今回の体験学習は自分にとって価値ある体験となった。（生徒感想より）

【工夫した点】

- 図書情報部に協力を依頼し、プロジェクター・スクリーン・タブレット・パソコン・スピーカー・イヤホン等の機器を準備しZOOMを用いて対談を行った。
- 日頃の授業で培った英語力を実践的に、即興で（事前に台詞等を準備しないで）発揮できるように、最初は事前にインタビュー内容を決めてスタートし、インタビューが進む中で自然にコミュニケーションができるように配慮した。

【今後の課題】

- 年度当初に（＝余裕を持った計画で）複数のゲスト候補を選定することで、より多くの生徒に体験の場を提供したい。
- 有志対象の休業日実施行事としての位置づけだけでなく、授業内でも実施できる方法を模索したい。

【経緯】

2020年6月	前年度までと取り組んできたIshinomaki A to Zに代替する、『地域』と『英語』を結びつけた体験型学習として企画。
2020年9月	3名のゲストをお招きした。※1回の企画につきゲストは1人（土曜日の午後の1時間）という設定で計3回
2022年1月	昨年度のゲストから本年度のゲストを紹介をさせていただいて実行した。

宮城県石巻高等学校におけるオンラインによる国際交流の事例

他機関との連携による取り組み

東日本大震災を機に発足した米国NPO法人Kizuna Across Cultures [KAC]によって運営されている「Global Classmates」というプログラムを活用。KACのマネージメントによってマッチングされた米国の高校生たちとCanvasという教育用SNSを利用して、テキストや画像などでの交流を週1時間程度行うことが主な活動。その他、相手校とお互いにプレゼント交換するOmiyage Exchangeや、テーマに沿った内容の英語の動画を制作するVideo-Koshienなどがある。

【プログラムの内容】

KACによってマッチングしていただいた米国の高校生たちとオンライン上で会って交流するZoom Sessionを計3回実施した。

- ◆第1回<Nice to Meet You!>: グループ毎に分かれて、お互い自己紹介し合い、全体で各グループメンバーを紹介。
- ◆第2回<SDGs Presentation>: テーマ毎にグループに分かれ、それぞれ自国のSDGsの取り組みについてプレゼンテーション。
- ◆第3回<Recommended Place & Future>: グループ毎に分かれ、お互いの国のお勧めの場所や自分の将来の夢について画像を見せながら紹介し合い、それを全体で紹介。

【工夫した点】

限られた時間内で円滑に進行できるように、相手校の担当教諭とSessionの内容についての連絡・調整やワークシートの作成

【今後の課題】

- 普段のGlobal Classmatesの活動内容と並行して実施したので、準備時間が十分に取れなかった。
- 時間差や行事等の兼ね合いで、相手校との意思疎通に時間がかかった。

【経緯】

2021年 8月22日	KACスタッフと相手校担当者と3者で今年度Global Classmatesの年間計画作成
2021年10月22日	第1回Zoom Session実施
2021年12月10日	第2回Zoom Session実施
2022年 1月14日	第3回Zoom Session実施

